

令和 5 年度 認知症施策の取り組みについて

北名古屋市西部南地域包括支援センター

内容
<p>① 認知症サポーター養成講座を 5 回開催（企業向け 1 回・住民向け 4 回）し計 51 名が受講参加された。</p> <p>② 認知症カフェを 2 か所開設し（キッチンカーカフェ北名古屋・エスポアかねせいカフェ）、当事者の方や家族、施設入所者など計 176 人参加された。（1 月時点）</p> <p>③ 介護者の会（かたる一む）は計 53 名参加、おれんじスペースの登録は 12 件</p> <p>④ 小学校認知症サポーター養成講座に参加、包括を PR、小学校（鴨田・白木・西春）</p> <p>⑤ 10 月の RUN 伴に運営サポーターとして参加し、住民の方を誘い協働啓発した。</p> <p>⑥ アルツハイマー月間の啓発周知（ロバ隊長のマスコット作り）</p> <p>⑦ 認知症初期集中支援チームに相談依頼（4 件）と連携、会議に参加</p>
成果
<p>① 認知症サポーター養成講座を自治会出前講座で住民向けに開き、認知症の理解を深めることができ、関心がある方が多くみえた。（アンケートからの意見抜粋）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いろいろの相談場所があることが知れて良かった。こういう活動は大切ですね。 ・近所の人と繋がりを持つ。 ・誰もが話しやすい住民であってほしい。 ・認知症の有無を問わず相手の気持ちに寄り添う対応を心がけようと思った。 ・本人の味方であること、安心させる声掛けを学んだ。 <p>② 認知症カフェはカフェオーナーが協力的でキャラバンメイト、民生委員も主体的に参加され、地域で少しずつ周知、定着してきている。</p>